

長谷川 伸一 のプロフィール

氏 名	長谷川伸一(はせがわ しんいち)		
生年月日	1963年12月26日		
身長	168 cm	体 重	69 kg
段位称号	7段(全日本空手道連盟)		
	錬士		
得意技	上段廻し蹴り・中段逆突き		
得意形	スーパーリンペイ		
好きな言葉	挑 戦		



プロフィール

15才(高校入学)よりブルース・リーの強さにあこがれ空手道を始める。空手の魅力にのめりこみ、部活動→道場稽古→自主トレと「3倍の努力」をモットーに自身を磨く。

2年で、高校県大会で形・組手両部門で優勝を納める。3年目で国体4位となり、ジュニア・ジャパンに選ばれ台湾に遠征、世界チャンピオンになるという夢を持つ。5年目(19才時)全日本ナショナルチーム強化選手(60kg級組手)に選ばれ、アジア太平洋選手権(名古屋)において準優勝。5年目(20才時)世界大会において第3位。21才時には、フランス国際大会及び、ワールドゲームズにおいて、世界60kg級界のトップに躍進。国内では、2度の国体優勝。

形競技にも目を向け23才より43才まで世界大会団体形優勝7回、アジア大会優勝9回を数える。2005・2006年は、ナショナルチーム主将を務める。2007年3月に全日本ナショナルチームを引退。

現役を続ける中、指導者としても腕を振るい、多くの名選手を育てあげている。世界チャンピオン1名、アジアチャンピオン2名、ジュニア世界チャンピオン2名、ジュニアアジアチャンピオン3名、全日本チャンピオン2名、全国中学チャンピオン3名、インターハイチャンピオン4名、インカレチャンピオン4名等々。

2006年の第18回世界大会団体形3位を最後に後進にバトンを託し、2008年東京で開催された第19回世界大会の日本代表選手に弟子3名(片田・内海・大木)が出場し、男子団体形において準優勝する。2009年中国で開催された第9回アジア大会では男子個人形優勝(大木)・男子団体形優勝(大木・内海・福田)を獲得している。2010年セルビアで行われた第20回世界大会でも男子団体形準優勝(大木・長谷川・荻原)・男子個人形3位(大木)と弟子たちも躍進をし、託した聖火の火は、絶えることなく世界を舞台に燃え続けている。

『生涯現役』心・技・体の一致。そして形と組手の両立を念頭に今も尚、空手道の技の中に“哲学・芸術・科学”を追い求めながら前進している。